

試聴会・訪問記掲載

河口無線ハイファイリティ試聴会報告(2017.1.21)

トライオード主催のスペンドールのスピーカー「SP-200」試聴会に行ってきました。

日時：1月21日（土）PM1:15～PM3:00

会場：3F ハイファイリティ試聴室

<使用予定機材>



スペンドール スピーカーシステム SP-200 ¥2,592,000（ペア）



トライオード 管球プリアンプ JUNONE-REFERENCE-ONE ¥2,160,000



トライオード 管球モノラルパワーアンプ TRX-M845 ¥2,160,000（ペア）



カクテルオーディオ マルチメディアプレーヤー CA-X40 ¥518,400



アキュフェーズ SACD プレーヤー DP-720 ¥1,188,000



<試聴の経過>

最初にトライオードが、スペンドールを扱うようになった経緯の説明があり、すぐにカクテルオーディオのマルチメディアプレーヤーCA-X40 に収納した音源の再生がありました。

CA-X40 についてもその機能について詳細な説明がありましたが、ネット上でも 1 台でネットオーディオが完結というような記事で紹介されていますので引用しておきます。これからのオーディオ再生の有り方の一方向を示すようなものと言えます。

<http://www.phileweb.com/news/audio/201510/13/16468.html>

<http://www.phileweb.com/review/article/201607/05/2076.html>

音源は、ギターとバイオリンのデュオ、ジャズ、アッカードのカンパネラ、女性ボーカルと続きましたが、一言でいうと。おおらかな鳴りっぷりで、逆に繊細感や昨今のハイエンドに見られる細かく描き分けるような表現は聴かれませんでした。

アッカードのバイオリンは、スペンドールと管球アンプの組みあわせということで期待したのですが、倍音の伸びに欠け、バックのオケの分離もよくありませんでした。バックのオケの分離の問題は、SP-200 が密閉型で駆動アンプを選ぶことに由来しているようにも思います。

一方、女性ボーカルと、それに続いての CD からの女性ボーカルの再生では聴きやすく、こういったジャンルの音楽を気軽に聴くには良さそうです。

総じて、スペンドールと管球アンプの組みあわせということでの期待には応えてくれませんでした。スペンドールらしさを引き出すような別の組みあわせで聴いてみたいと思います。なお、CA-X40 は 1 台でネットオーディオが完結ということで、これからの再生の有り方を示すという意味で興味を惹かれました。

パワアンプの出力管を 845 を 211 に差し替えるテストも予告されていましたが、別の予定があって中座してしまって聴けませんでした。